

高齢者協同組合の本格化で見えてきたこと

中田 宗一郎 (日本労働者協同組合連合会・副理事長)

はじめに

高齢者協同組合運動は、呼びかけを手にした、なによりも高齢者の心をとらえ、合わせて、福祉・医療・高齢者・障害者問題に関わる、専門家・国・自治体の関係者、マスコミなど広範な人々の期待を集め、21世紀に向けて自立した高齢者の「新しい協同組合」として大きな発展を遂げる様相を示しています。

構想にもとづく「組合づくり」は、去年は、三重・沖縄・愛知・福岡の4県でした。

本年にはいって、長野・北海道・神奈川・阪神・山形・東京に次々と設立され、準備中の15県を合わせると25都道県に達する発展を遂げました。

全国各地で、多彩で豊富な経験が生まれました。

加入した組合員が、元気で、明るく、希望と夢を持って、生き生きと活動を始めました。

長野の若月俊一先生、東京の大内力先生が理事長を快諾されたことに象徴される各界の有力者から、単なる賛同にとどまらない支援・協力の申し出では、全国の取組みをひろげる大きなバネとなっており、大きな喜びです。

東京での設立を成功させた取組みを始め、全国各地が切り開いた成果と教訓を共有し、全国展開をはかり高齢者協同組合運動の大いなる前進に繋げることが私たちの責務であり、時代の要請に応えることにもなるのであります。

96年度の活動の特徴

1、準備会・懇談会が数多く開かれています。

そこでだされる疑問や意見は、

「なぜ協同組合なのか」「高齢者協同組合と高齢者生協の関係」「労働者協同組合と高齢者協同組合の関係」「法人格の問題」「具体的な仕事おこしの内容」「財政をどう確立するのか」「公的介護保険との関係」

などで、くりかえし出され、くりかえし話し合われ、実践を通じて、自立した高齢者による「新しい協同組合」の果たす役割への理解が深められています。

2、高まる関心と期待、共感をよんだポイントは

元気な高齢者がもっと元気になる、高齢者が自立し協同して助け合う、その鍵が働くこと・力を合わせて仕事をおこすことにありました。

そして、高齢者が生き生きと暮らせるためには、地域の再生が不可欠であり、結集した高齢者の意欲とエネルギーにはその力が十分あることを確かめあえたことでした。

また、高齢者が単なる福祉の受け手ではなく担い手でもあるとしたことで、福祉の考え方を、「与えられる福祉」から「参加の福祉」へと抜本的に変えるものとなるだろうという強い共感をえています。

NHK村田幸子解説委員は、テレビで「就労、福祉、生きがい」の三本柱で、高齢者が自立性を強め、お金もだし合ってすすめる協同組合」と共感をこめて紹介をしてくれて大変な反響を呼

びました。多くのマスコミの好意的で継続的な取材をうけました。

3、仕事おこし・仲間づくりの考え方への共感

協同組合の原点である一人ひとりの組合員が主人公で、みんなで企画して、みんなで実践する。合わせて、先進例に学び、意欲のある人を得て確実な取組みをはじめることの理解が深まりました。実践例として、

愛知（600人の就労、〆たまり場、づくり、らくらく講座）粕屋（老人給食、無農薬野菜づくり）伊丹・神戸（ヘルパー、建設・緑化）三重（健康管理、〆健康づくり、）センター（パン工房、愛彩豆腐、味彩弁当、ヘルパー）とちぎ（福祉の里）八戸（老人大学）などが、そして、

コーディネイターを育てること。人と地域に役立つ仕事をおこすこと。福祉を儲けの対象にさせないこと。を基本的な観点としていくことに共感をえました。

4、農協・生協との協力がすすみました

長野では、佐久総合病院の若月総長が理事長に、県生協連から祖父江常務が副理事長に就任されました。県農協堀内会長・若月先生・永戸理事長との鼎談（労協新聞No.378）が実現し、農協関連の仕事の提案も受けました。山形では、共立社生協・庄内医療生協の協力を受け準備会が活動しています。旭川では、道北勤医協の支援も受け協同作業所と力を合わせて「道北高齢者・障害者協同組合」を設立しました。神奈川では、けんぼく生協との高齢協運動を共にすすめる提携文書がかわされました。

5、ボランティアの活躍

運動を推進する事務局に熱心な方々がボランティアで参加されるようになり運営が強化され、すばらしい「ニュース」「たより」などの発行が可能になりました。その活動が、事業団・労働者協同組合の事務局を活性化させる相乗効果も生まれています。

6、新しい人達による高齢協づくりが始まりました

新聞・テレビの報道で知って、私たちのこれまでの活動とは無縁の人達による高齢協づくりが八戸と静岡で始まりました。特徴は、バイタリティーに富んだ共鳴者が、これまでの社会的活動の総仕上げに最もふさわしい組織と惚れ込んで意欲を燃やしていること、既に居住地域で高齢協の基礎となる事業があって、法人申請に必要な組合員対象者がまわりにいることです。

構想の普遍性を示す嬉しいできごとです。

7、学ぶべき愛知の組織整備の実践。

新しい協同組合としてのスタートは、運動の推進と合わせて迅速な実務処理の能力を備えることが大切です。愛知での諸会議の定例化、支部世話人の選任、名簿の整備、ニュースを中心に据えた活動など協同組合としての民主的な運営に心掛ける優れた実践がされています。

8、「たまり場づくり」の果たす役割が高まっています

愛知の議案書は「たまり場」を「人と人が出会う・交流ひろば」とらえれば、こうした組合員活動は、参加の機会を生み出しているという意味でたまり場づくりといってよい。仲間の発見、人と人のつながりの楽しさ、豊かさを実感させ、この組合に入ってよかった、という組合員を生み出しています。人と人のつながりを豊かにすることが、前向きに心弾ませて生きる意欲や、地域と人々に役立つ活動を創造して行く、わたしたちの活力源になる」と、述べています。同じ思いから全組合が「たまり場づくり」を活動の中心軸に据えています。

事業・経営がイメージされてきました

ヘルパー・老人給食・共同購入・講座・文化事業がまず労働者協同組合での先駆的な実践にも学んだ意欲的な組合員によって立ち上げられました。

既に高齢者ならこそと思われる際立った仕事おこしの特徴が見られます。典型が長野で生まれようとしています。

①ヘルパー事業

先進的な西宮・いたみ・神戸につづいて、次々と事業化が始まり、1か月の利用時間で、愛知80時間、三重200時間、センター浮間100時間、長野〇〇時間の貴重な実績が生まれました。この間、(企)武蔵野(2,000時間)ワーカーズコープけやき(600時間)のヘルパー集団がセンターに加盟し、長野でも始まり、全国のヘルパー事業は467人、23,976時間、事業高(年)2億円になりました。

スタッフも、介護福祉士、1級・2級ヘルパー、看護婦、栄養士、薬剤師の参加が続き「ホームヘルパーセンター」の条件を充足し、ヘルパー講座の充実と積極的な養成計画と相まって、ますます発展する展望が生まれました。

経営は、厳しくヘルパーへの重い負担など多くの課題がありますが、いたみ事業団の「大変だが3年で黒字にする」という逞しい奮闘が全国へ確信と励ましをあたえています。

②老人給食

粕屋での13年にわたる苦闘のうえに、公的補助の実現が全国を励ましました。

川崎の女性パワーの活躍で始まった「味彩弁当」は川崎市から高い評価を得て、市の制度にのる見通しが出てきました。

旭川の宅配弁当「元気舎」の開店は、健常者と一緒ににすすめる障害者の社会参加のモデルとして作家三浦綾子さんの激励もうけ、全国的な注目を浴びています。

老人給食は、国・自治体の助成制度とかみあい、ヘルパーとの共同、食材の手当で農家と、配達で高齢者ボランティアとの結びつきなど、経営上の困難さを外に打って出ることによって突破する取組みがすすみました。

③共同購入

三重・愛知で取組みが始まりました。

「生協の経験がそのまま通用しません。」「単なる購買事業」としないために「健康品供給事業」を重視して、「安心・安全で健康的な生鮮食品は地元の農民や業者の協力を組織し、ドライ商品や

介護用品などは全国的な共同仕入れを行うとともに、独自の高協ブランドを開発する」(東海協議会の意見)、パラマウント・無茶々園・ピガファームなど新規加盟組織の物品、各県高令協がとりくむだろう物品の効率的な斡旋システムを確立する必要があります。

④講座事業

愛知のワープロ・将棋・気功・社交ダンスなどから始まった「らくらく講座」は組合員の要望が高く、好評で、事業的にもノウハウをつみ採算にのるところまできました。

各組合が、まず始めに企画する事業となっています。

⑤文化事業

長野・山形で、組合員(作家・元教職員)の提案で、「郷土めぐり」「文学散歩」などが旅行、ハイキング、健康診断と結んで企画され取り組まれました。

⑥仕事拡大の典型が長野で生まれようとしています

長野市郊外の超過疎地である大岡村で「環境保全、資源リサイクル、農林・畜産事業」と名付けた自然卵養鶏事業計画がすすめられています。その中で、鶏舎造りに間伐材を使うことを契機に森林組合との信頼関係が深まり早速20人もの組合員が働く業務委託につながりました。

「エサ」に残飯と野菜屑をリサイクルする検討では、県下に16工場をもつ企業の食堂と学校給食を扱う教育委員会から提供してくれる快諾が得られ回収の仕事が販路の確保と合わせて検討されています。

キウイ畑を永井さんの90歳卒寿の記念事業として引き継ぐ整備作業が、お花見バーベキューを兼ねて23名の参加で楽しく行われました。

このように生まれてきた仕事は、高齢者が楽しく安全に働けるためにも、規模と内容からも、長野労協の協力と連携を必要としています。

今後の、労協と高齢協の関係を示唆する取組みとして成功することが期待されます。

この早いテンポでの発展の基礎は、8年に及ぶ

「考えてみよう長野県での協同を」集会のとりくみが培った人間関係がありました。協同のネットワークの追求の大切さです。

財政の確立が中心課題として 取り組まれています

4高齡協の設立は、事業団のバックアップで成し遂げられましたが、今年は自力で立ち上げることを前提としたこと、4高齡協も「だっこにおんぶ」にならないための真剣な追求がすすみました。

常勤スタッフの報酬、事務局経費を予算化した財務計画が理事会・準備会・世話人会などで真剣に検討され、組合員の拡大、出資・増資のとりくみの強化、バザー、寄付、会費の導入、ニュースの有料化、積極的な事業開拓での前進がありました。

どこでも、安易に借入に頼らない姿勢が貫かれることでの創意がはかられています。

法人格の取得について

生協法にもとづく法人格の取得は、三重県での取得以降すすんでいません。

申請を受け付ける県の対応に大きな変化があったこともありますが、一定の実体を作った上での申請がベターであるとの県の助言や、申請を急がず実績をあげることを方針とするなどあって「要件を整え申請する」対応で当面すすめています。

日本では、「仕事づくり」「労働」のための「労働者協同組合法」やそれを包含する「総合協同組合」の法制がないことから現行生協法を活用しつつも、高齢者の人間としての要求にそった総合的な非営利、協同組織としての実体づくりが要となります。

高齢者協同組合は、高齢者の人間生活の総合的な再生に取り組むことによって、これまでの日本の協同組合概念や協同組合法に問題を投げかける存在として、労働者協同組合と協力して成長をとげることが大切になります。



全国組織（連合会）の展望

高齢者協同組合の全国組織の確立は、全国の運動の発展状況と協同組合としての民主的な協議の上に、適切な結成時期を定めていきます。

全国組織の必要性はだれもが認めるものですが、重要な事は今から組織の在り方（理念・目的・運営原則・財政の在り方）を積極的に討議、検討し全国的な合意を作っていくことが必要になります。

連合会を展望するとき、財政をどう確立するかが重要なポイントになります。

労働者協同組合連合会は、独自の事業を行わず会費で運営されていますが、高齢協は同じには行かないと思います。

労働者協同組合連合会は、全米退職者協会との提携ができたことで、その経験にも学んで特に事業面での研究を深めます。

「公的介護保険」と高齢者協同組合

(省略)

「公的介護保険」に関しての実践的解析を、『仕事の発見誌』No.15、16で特集を組みました。

弱点もリアルに見据えて、 ただちに改善しよう

設立はされたが、そのあと「具体的な姿が見えない」「理事会が開かれない」「出資金の処理が遅れている」「だれに問い合わせたらよいか、責任が不明確」など、盛り上がった期待とエネルギーをそぐ状況が一部に生まれています。

長野、山形、東京では、徹底して組合員を主人公とする運営、ボランティアの活躍が活力の源泉となっています、学ぶべき愛知の民主的運営の努力も生まれています。

いっとき生まれる困難も、発展への一里塚として組合員に依拠し、皆で力を合わせて早急に改善

を図るため、連合会も、一緒になって問題の解決に当たります。

96年度活動の提起

1. 96年度基礎講座の実施

①. 「入門講座」

②. 「事業推進講座」

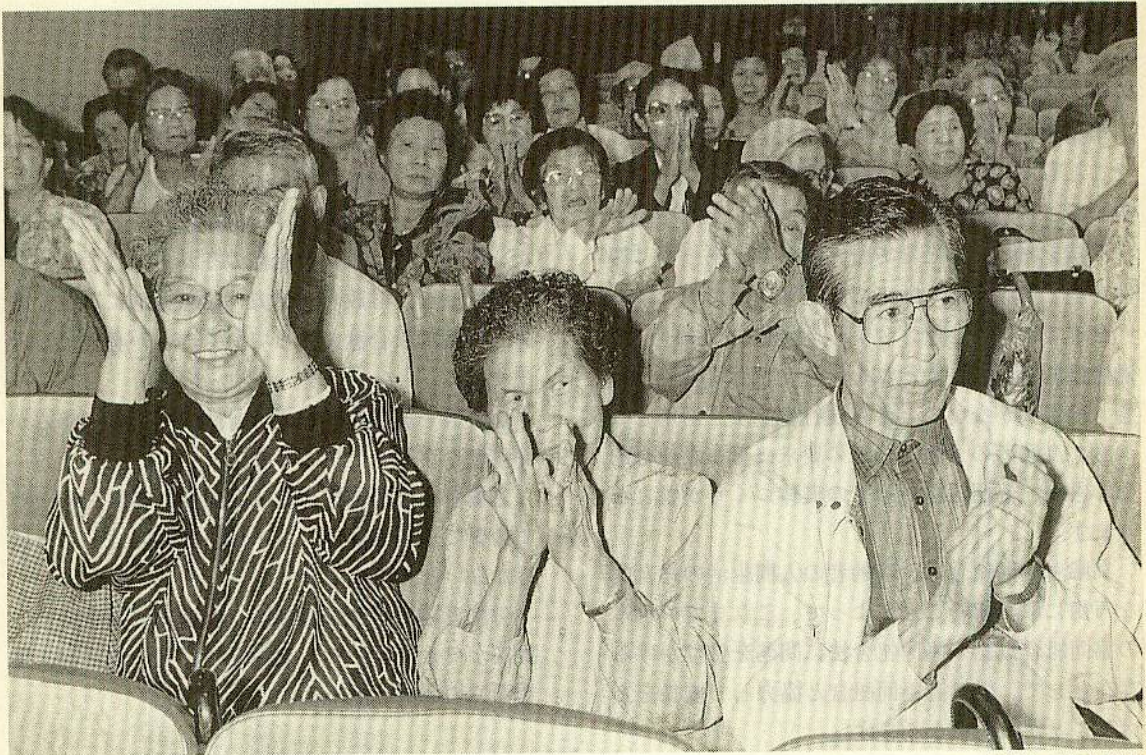
2. 20都道府県以上の設立めざして

3. 96協同を問う仙台集會に連帯する

4. 全国組織（連合会）の結成時期をさだめる

(本稿は、連合会が9月13日東京で開いた、第2回高齢者協同組合全国交流集會の基調報告を要約したものです。)

※右頁表は「高齢者協同組合設立概況」



撮影・五味明憲

組合名	郵便番号	事務所所在地 電話番号 F A X	◎理事長 ◎副理事長 ◎専務 (事務局)	設立 年月日	96.6.30 現在 組合員 賛同者	出資金 (1口)	顧問
センター事業団 高齢者協同組合	171	東京都豊島区 雑司ヶ谷3-22-10 03-3987-5919 03-3987-1807	◎水戸 祐三 ◎坂内 直治 ◎田村 守保 ◎浦沢 栄隆 ◎松浦 孝好 ◎富田	94.9.14	804 2,961	10,000	
三重県高齢者 生活協同組合	515	三重県松阪市 京町区28-9 0598-52-5871 0598-52-5871	◎吉田 逸郎 ◎田畑 美穂 ◎大杉 安和 ◎栗山 蒼 ◎中西 五洲	95.2.19	1,200 1,200	5,000	
沖縄県 高齢者協同組合	902	沖縄県那覇市 字国場1169-15 パピオン宮城201号 098-835-2215 098-835-2441	◎武居 洋 ◎平田 亮 ◎田村 守保 ◎平良 一彦 ◎竹森 鋼	95.9.3	52 3,853	10,000	手塚 康夫(財団法人明日の日本を創る 協会理事長・元沖縄開発庁事務次官) 仲松 弥秀(元琉球大学教授 ・元コープ沖縄理事長) 金城 睦(金城共同法律事務所所長)
愛知県 高齢者協同組合	460	愛知県名古屋市中区 平和2-2-3 高齢者労働会館内 052-331-4853 052-331-2735	◎内田 基大 ◎林 清 ◎花田 啓一 ◎長 宏 ◎塩田 芳久 ◎河合 満喜子 ◎長谷川 勝彦	95.9.15	2,200 2,200	5,000	稲子 恒夫(名古屋大学名誉教授) 博(名古屋大学名誉教授 ・前愛知医科大学学長) 本山 政雄(元名古屋市長 ・名古屋大学名誉教授) 飯島 宗一(愛知県芸術文科学センター総長)
福岡県 高齢者協同組合	812	福岡県福岡市博多区 博多駅前2-15-5 092-441-7587 092-441-8281	◎武田 正勝 ◎竹森 幸男 ◎仲野 邦彦 ◎龍田 光弘 ◎貞末 廣士	95.10.22	500 7,000	5,000	石川 捷二(九州大学法学部教授) 門田 直幹(九州大学医学部名誉教授 ・導死協会会長) 具島兼三郎(九州大学名誉教授 ・元長崎大学学長) 佐々木 元賢(長崎大学名誉教授 ・精華女子短期大学学長) 脇坂 順一(久留米大学医学部名誉教授) 内田 一郎(九州大学名誉教授 ・福岡県自治体問題研究所) 岩崎 隆次郎(九州地区日本語教育施設 協組代表理事)
長野県 高齢者協同組合	381	長野県長野市 吉田5-12-10 長野事業団内 026-263-2383 026-263-2385	◎若月 俊一 ◎市川 英彦 ◎川村 峰男 ◎桐原 生子 ◎祖父江 哲一 ◎宮下 徳雄 ◎依田 発夫 ◎小沢 房生 ◎錦織 弘忠	96.3.24	300 4,500	5,000	
北海道 高齢者協同組合	078	北海道旭川市 東旭川北 2条5丁目7-12 道北高齢 ・障害者協同組合 元気舎気付 0166-36-4407 0166-36-4408	◎内沢 千恵 ◎小野 正昭	96.5.11	200 2,000	5,000	
神奈川県 高齢者協同組合	220	神奈川県横浜市西区 平沼1-5-21 第2ロレアルビル3F センター事業団 神奈川事業本部気付 045-321-4841 045-321-4453	◎黒川 俊雄 ◎梅原 健二郎 ◎浦沢 栄 ◎鈴木 方十 ◎宗田 幸彦	96.5.19	450 3,500	5,000	大石 重一(健康で豊かな老後をつくる 川崎市民協議会副会長) 西条 節子(社会福祉法人 ・藤沢育英会理事長) 関山 康雄(神奈川県中小企業 支援財団理事長)
阪神 高齢者協同組合	664	兵庫県伊丹市 中野西3丁目33番地 0727-85-1449 0727-85-1449 宝塚連絡所 宝塚市小林 2丁目11番4号 あかね書店内 0797-73-5454	◎香川 公一 ◎木谷 勝彦 ◎友成 光吉 ◎橋本 勇 ◎増田 忠治 ◎中村 一夫	96.6.22	514 5,138	5,000	今井 鐵(宝塚医療生協副理事長) 市川 禮子(特別養護老人ホーム ・喜楽苑苑長) 合志 至誠(合志至誠病院院長 ・兵庫県保健協合理事長) 北里 桂一(大阪芸術大学教授) 進藤 敏(進藤医院院長 ・伊丹市身体障害者懇談会会長) 砂川きよし(伊丹市社会福祉協議会会長) 谷川 博信(尼崎医療生協理事長) 野村 和夫(全国保健医団連合会 副会長・野村医院院長) 藤田 晃(甲南大学教授) 大塚 彦二(宝塚仁川高九自治会)
山形県 高齢者協同組合	997	山形県鶴岡市 文園町10-11 センター事業団鶴岡 事業所気付 0235-23-6671 0235-22-9058	◎佐藤 幸夫 ◎青山 崇 ◎坂本 敬一 ◎桜井 泰子 ◎鈴木 彦一郎 ◎松浦 隆	96.6.22	380 1,840	5,000	
東京 高齢者協同組合	117	東京都豊島区 南池袋3-4-2 吉田ビル センター事業団 東京事業本部気付 03-3980-8596 03-3987-4859	◎大内 力 ◎勝部 欣一 ◎水戸 祐三 ◎関谷 吾 ◎田中 羊子 ◎上村 光赤	96.9.14	811 4,000	5,000	竹内 孝仁(日本医科大学教授)